



Title	日米関係（沖縄返還）28(沖縄全軍労書記長との会談（北米一長） 外務省外交史料館レファレンス番号：nd)
Author(s)	-
Citation	平成26年度外交記録公開(2) 公開日：平成27年1月15日 外務省外交史料館管理番号：2014-4128 CD・DVD番号：H26-004
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43808
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

沖繩全軍方書記長との会談

(北米一長)

秘密表示(集印)
 秘 密
 無 印
 内 務 省
 文 書 課

あて先別
 付属校査渡

部数指示	発信用	執務用	備考
主 信	2	1	3
付 信			
別 添			

発送日 昭和45年11月6日
 処理日
 発信 校

秘 密
 無 印

文書課長 (分類) 公 信 案

公 信 第 米北/A 第 4084 公 信 昭和 45年 11月 5日 日付

大 臣 主管
 政務次官
 事務次官
 外務審議官
 外務審議官
 官 房 長

起案 昭和45年11月4日
 起案者 田中一平 電話番号 446
 6日

協議先

受信者 在米 平場 大使 (2-1)
 在中 板垣 大使 (2-2)

発信者 外務大臣

写送付先 (希望発送日) 月 日

件 名 沖縄全軍労書記長との会談要旨の送付

GA-2 外務省 回覧番号

5 37

PHI局長
 号37
 号々長 朱保長 北米オ-隊長
 沖縄全軍労書記長との会談

45.10.15
 米北/長

本官 沖縄出張中 14日午後全軍労
 友寄書記長と会談し、政府は間接雇
 用を復帰後実施するための準備に関
 し米側と協議中である、その結果
 四軍及びOREに分れ複雑多岐な米
 側の雇用(給与及び労務管理)形態を
 (特に)
 本土式に変えて行くことはきわめて複雑
 膨大な準備措置を必要とすること

GA-5 2580 外務省

が判明した^旨、そのための政府として多
 種の対策を検討中であるが、その基本
 的な考へ方は個々の労働者が復帰
 に伴い損害をこうむらないように留意
 することにある^旨、これらに關し、いずれ
 は全軍労とも接触を始めねばなら
 ないと思つてゐるが、その時期（おそらく
 明年春位かとも思われる）方法（おそ
 らくまずは米軍が先に接触するの
 ではないか）等についてはまだ未
 定である^旨等を説明の上、いずれに
 せよ彼我のパイプは従来通り十分
 保つておきたいので、全駐労全由にて
 も直接にてもかまわぬか、いつにても

当方に連絡されて差しつかえない旨
 述べた。右に對し先方はこれをきわ
 めて多とすると共に、復帰に伴う具体
 的問題についてはいずれ^旨として
 組合員大衆に十分説明しなくては
 ならない時期が来ることは明らかで
 あるので、なお一層よくお願いし
 たいと述べていた。（以上記録まで）

* 秘密標準 (赤色)
極 秘
まで
部の内
号

米北合オ4084号
昭和45年11月 5日

外務大臣

(件名)
仲經全軍務書記長との会談要旨の送付

引用公・電信
日付・番号

10月14日 仲經は、~~おいて~~ 千葉北米/局長
は、
仲經全軍務友寄書記長と会談したと
ころ、右会談要旨 ~~を~~ 参考まで 別添
送付する。

本信送付先 米、中華民国

* 付属添付 付属空便 (行) 付属空便 (DP) 付属船便 (貨) 付属船便 (郵)

※印は文書課記入